

International Workshop of Ultra High-Resolution on Microscopy 2018

電子波による電磁場観察はどこまで高分解能化できるのだろうか

日時：2019年2月22日（金）11：40より 2019年2月23日（土）12:00まで

場所：日立基礎研究センター 〒350-0395 埼玉県比企郡鳩山町赤沼 2520 番地

会費：会員（Full 15,000 円、1 日 5,000 円、1 日+バンケット 10,000 円）

学生（Full 12,000 円、1 日 1,000 円、1 日+バンケット 5,000 円）

非会員（Full 20,000 円、1 日 10,000 円、1 日+バンケット 15,000 円）

（Full は、会議費、バンケット、宿泊代などを含む。）

ポスター申込み、参加申込み、問い合わせ等は、下記 e メールにて受け付けます。

phase2018@jaist.ac.jp

- 2月22日（金） 【タイトルは仮題です】
- 11:45- 【レビュー】 平山司（JFCC）
「電子波干渉による電場・磁場の観察 ～その進歩と将来～」（日本語）
- 12:45- ランチ
- 13:30- R.E. Dunin-Borkowski（Research Center Jülich）
"Quantitative Atomic Observation by Electron Holography"
- 14:15- D. Cooper（Univ. Grenoble）
"Comparison of Phase Measurements: DPC vs EH vs 4DSTEM"
- 15:15- 村上 恭和（九大）
"High Sensitive Phase Measurement in Materials Science"
- 15:45- 柴田 直哉（東大）
"Can We Observe Inside of Atoms?"
- 16:15- 谷垣 俊明（日立）
"Towards Imaging of Magnetic Field at Atomic Level"
- 17:00- ポスターセッション&ラボツアー
- 18:30- バンケット
- 2月23日（土）
- 9:00- A. Blackburn（Univ. Victoria）
"Novel Approach of High-Speed Ptychography"
- 9:30- 佐川 隆亮（日本電子）
"Ptychography by 4DSTEM"
- 10:00- 山崎 順（阪大）
"Advances in Diffractive Imaging"
- 10:50- 佐々木 宏和（古河電工）
"Utilization of Several Techniques in Electron Phase Imaging"
- 11:20- 柴田 基洋（理研）
"Structure and Behavior of Magnetic Skyrmions"

ポスター発表を募集します。

研究会なので「測定方法について相談したい」などでも構いません。

ヒントや解決方法が見つかるでしょう。

もちろん、「自分の成果をアピールしたい」方も歓迎します。

ご応募をお待ちしております。

責任者 大島 義文（JAIST）email: oshima@jaist.ac.jp

主催 日本顕微鏡学会 超高分解能顕微鏡法分科会

共催 文部科学省先端研究基盤共用促進事業 アトミックスケール電磁場解析プラットフォーム